

認知症の薬の使い方とそのリスク

福岡

介護現場ではいま、画一的な処方と多剤併用によって
深刻な＜薬害＞が起こっている！

長崎

2017年
日時: 11月8日(水) 10:30～16:00
会場: 福岡商工会議所(第1中会議室)
(福岡県福岡市博多区博多駅前2-9-28)
☆JR「博多駅」博多口より徒歩10分、
地下鉄祇園駅5番出口より徒歩5分

2017年
日時: 11月9日(木) 10:30～16:00
会場: 長崎勤労福祉会館(第3中会議室)
(長崎県長崎市桜町9-6)
☆JR「長崎駅」駅より徒歩15分、
市電・蛍茶屋行き「市公会堂」下車徒歩3分

＜認知症介護＆医療の全てが分かる1日コース＞

【講師】

ひがしだ つとむ
東田 勉



フリーライター。介護・福祉・医療分野の綿密な取材をもとに執筆した著書は多数。
2014年に刊行された『認知症の「真実」』（講談社現代新書）はベストセラーに。長尾和宏医師との共著『認知症の薬をやめると認知症がよくなる人がいるって本当ですか?』（現代書林）、村瀬孝生氏との共著『認知症をつくっているのは誰なのか』（SB新書）、近著に『親の介護をする前に読む本』（講談社現代新書）がある。

へ プ ロ グ ラ ム ▽	10:30～11:30	認知症医療の最前線の動き なぜ認知症はこんなに増えたのか／海外から批判されている日本の認知症対策／症状による4大認知症の見分け方／高齢になるほど増える合併と移行
	11:45～12:45 (昼食)	抗認知症薬のメリットとデメリット 中核症状とBPSDへの薬の使い分け／抗認知症薬の増量規定／いまさら聞けないアリセプトの作用と副作用／認知症のコミュニケーション障害にどう対応するか
	13:45～14:45	高齢者への薬物療法の極意 第一線の認知症医が導き出した結論／抗認知症薬が認知症を悪化させる／コウノメソッドの画期的な投与方法／リバスチグミンとシロスタゾール／意識障害とせん妄への対応
	15:00～16:00	介護職は何ができるのか デビルメソッドからお年寄りを救い出せ／声をあげ始めた医師たち／アルツハイマー病の真の問題とは何か／心理学からのアプローチと介護からのアプローチ

*受講料はお送りしません。満員でお断りする場合はみ一週間以内にご連絡さし上げます。

【受講料：6,000円】

*受講料は当日会場で承ります。

主催 **なるほどケア塾** お問い合わせ
〒189-0011 ☎042-306-3771
東京都東村山市恩多町3-39-13-101 ㈱円窓社内

お申し込みはこちらへ Fax

Fax : 042-306-3772

＜参加人数＞

＜参加者名＞ *施設の場合は施設名もご記入ください。	11/8(水) 福岡 ()名	11/9(木) 長崎 ()名
＜住所＞〒 (自宅・職場)		
＜TEL＞	＜FAX＞	